

南陽市立宮内小学校

地域に根ざした元気な学校

日本三熊野の一つに数えられる熊野大社の懐に抱かれた本校は、児童数 343 名で創立 143 年の歴史を刻んできました。

地域のよさを実感する夏祭り

毎年 7 月に、1200 年以上の歴史をもつ熊野大社の例大祭が行われます。子ども達は、祭りの前に石畳通りをきれいに清掃し、宮内が最も活気づく祭りを迎えます。

太鼓やお囃子、万燈みこしや子どもみこしなど、地域の大人といっしょに祭りに参加することを通して、地域の大人とふれあい、地域のよさを実感させたいと願っています。



心が通う挨拶運動

児童会活動の重点として、挨拶運動に取り組んでいます。「あいさつし隊」のたすきをかけた朝の挨拶運動は、元気な声が響き心が通い合う時間になっています。この挨拶運動

は、宮内中学校区の児童会・生徒会連絡協議会や、地域の「笑顔いっぱい！ 共生ネットワーク」の活動と連動し、地域ぐるみの挨拶運動となっています。

地域を愛する子ども達に

宮内は昔から菊作りが盛んです。4 年生は 3 本立ての厚物と呼ばれる菊を、南陽菊花会の方に教えていただきながら菊を育てています。また、伝統のある菊人形の歴史や作り方も学んでいます。水かけを欠かさず育てた菊は、秋には宮内の商店街の店先に飾っていただき、地域の方や観光客の目を楽ませます。地域の方からの感謝の言葉が、子ども達の自信や意欲につながっています。



遊佐町立藤崎小学校

食育推進による新たな学校づくり

本校は、昨年 4 月に旧稲川小学校と旧西遊佐小学校が統合して誕生した新しい学校です。そして開校以来、統合前の各小学校の伝統ある教育活動を継承しながら、魅力溢れた勢いのある学校づくりに努めています。

1 伝統の継承と発展

以下、特に大切に継承し、発展させようとしている重点の幾つかについて紹介します。

(1) 予習の重視と教育機器の活用

本校では、中高学年の算数を主に、予習を大事にした学習指導に取り組んでいます。また、教育機器の活用にも積極的で、現在は iPad の活用を図っています。

(2) 読書活動の推進

遊佐町全体として読書活



動を大事にしていますが、本校では PC による蔵書の管理等、図書館の環境整備を進め、更に親しまれる図書館づくりに励んでいます。

(3) 本物にふれる体験活動の重視

本校は、海・山・川・田園・砂丘地と豊かな自然に恵まれた環境にあります。そして、その豊かな地域の自然や人々や文化と関わることを通して、子ども達の社会性を育てています。

2 スーパー食育スクール事業を通じた新たな学校づくり

今年度、本校は文部科学省よりスーパー食育スクール（以下、SSS）事業の指定を受けました。そして、これまでの実践に、SSS 事業の実践を重ねて、「学校・家庭・地域の連携による生活習慣の改善と郷土を愛する児童の育成」を一層推進しようとして、多様な実践活動を展開し、新たな学校づくりを進めているところです。

